

【東栄町 校務 DX 計画】

令和 5 年度、文部科学省により実施された『GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト』の自己点検結果に基づき、以下の方向性で校務 DX に取り組んでいく。

1、FAX・押印の原則廃止について

文部科学省『GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト』に基づく自己点検の結果と各学校でのヒアリングの結果、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があること、業者とのやり取り等で FAX を利用していることが分かったため今後は緊急時の連絡やネットワークの不具合などを除き FAX や押印の原則廃止に向けて、町教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど働きかけを行っていく。

2、クラウド活用について

Google Forms を活用した、保護者等へのアンケートは、学校現場で浸透してきているため、児童生徒の欠席連絡等についてもクラウドサービスを利用して実施することを検討する。

学校間での情報共有や学校から教育委員会への資料においても、クラウドサービスを活用することにより校務の効率化を進めるよう見直す。

3、次世代の校務支援システムの導入について

東栄町では現在公務支援システムの運用をおこなっていない

各学校の職員にヒアリングや小規模自治体の校務支援システムを参考に導入を検討していきたい。